

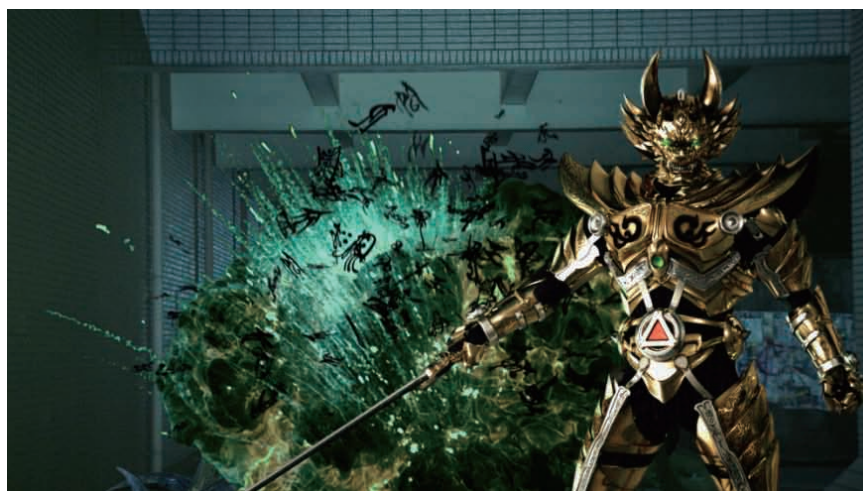
東北新社製作 全編 3D映画 『牙狼<GARO>～RED REQUIEM～』 第23回 東京国際映画祭 ワールド・プレミア上映決定！

東北新社(東京都港区 植村徹社長)が製作した全編3D映画『牙狼<GARO>～RED REQUIEM～』が「第23回 東京国際映画祭」に特別招待作品としてワールド・プレミア上映が決定しました。

23回目を迎える東京国際映画祭(以下 TIFFF)は、日本唯一の国際映画製作者連盟(※)公認の国際映画祭として、1985年より開催され、日本の映画産業、文化振興に大きな足跡を残してきたアジア最大の映画の祭典で、本年は10月23日(土)～10月31日(日)の9日間、六本木ヒルズをメイン会場に開催されます。

特別招待作品に選ばれた『牙狼<GARO>～RED REQUIEM～』は、日本初の全編フルデジタル3D映画で、最新の3D技術と東北新社グループがこれまで培ったノウハウを集約したリアルな映像は、圧倒的なスケールで臨場感あふれ、これまでにない迫力あるアクションシーンを生み出しています。今回のワールド・プレミア当日には両宮慶太監督をはじめ、小西遼生(冴島鋼牙/黄金騎士ガロ)、松山メアリ(烈花/魔戒法師)、原紗央莉(カルマ/魔鏡ホラー)の舞台挨拶も実施予定。TIFFF会期中には同じ顔ぶれでの記者会見も予定しております。

(※)国際映画製作者連盟(本部:パリ、世界22カ国が加盟):世界の映画産業、国際映画祭の諸問題を改善、検討する国際機関



第23回 東京国際映画祭 『牙狼<GARO>～RED REQUIEM～』 ワールド・プレミア

- 日時:10月25日(月)
19:50～21:27(97分)
- 会場:TOHOシネマズ 六本木ヒルズ
Screen 2

舞台挨拶、記者会見の出席者は予定であり、
当日変更の可能性もあります。

[STAFF]

【原作・監督】両宮慶太
【脚本】江良 至、両宮慶太
【VFXスーパーバイザー】小坂一順
【アクション監督】横山 誠
【技術協力】オムニバス・ジャパン
【特別協力】サンセイアールアンドディ
【製作・制作】東北新社
【配給】東北新社/ゴー・シネマ
(C)2010 両宮慶太/東北新社

[STORY]

太古より人間の邪心にとりつき、生命を食らい続ける魔獣“ホラー”と、魔獣を狩る使命を帯びた魔戒騎士。その最高位の証“ガロの称号”を持つ黄金騎士・冴島鋼牙(小西遼生)の戦いを描く。

[CAST]

小西遼生、松山メアリ、斎藤洋介、倉貫匡弘、
影山ヒロノブ(声の出演)、津田寛治、中尾 彬 ほか

10月30日(土)新宿バルト9ほかにて全国3Dロードショー <http://www.garo-3dmovie.jp>